

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県健康の森学園支援学校	実践者名	竹中 周平
実践場面 (教科、領域、行事等)	生活単元学習		
単元名	秋祭りをしよう		
学習目標・ねらい	・秋祭りの屋台について話し合い、屋台の内容について考えることができる。 ・調べる内容を教師と一緒にタブレット端末を使って検索し、気に入った画像を友達に紹介することができる。		
対象の児童 生徒の実態	・タブレットを活用してYouTube等で興味のあるものを平仮名入力したり、検索候補を見たりして検索することができる。 ・書字については、平仮名で書かれた文字を読むことができる児童や、平仮名のマッチングをすることができる児童など実態は様々である。 ・自分の気に入ったものなどを指す児童や簡単な言葉で説明することができる児童がいる。 ・難しい学習や苦手な学習になると、集中が難しかったり、身近な教師にすぐに頼ったりする。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
(1) 祭りの屋台について話し合う。 ①行ってみたい屋台や売っている物について知っていることを学級で確認する。 ②調べる内容について話し合いをする。 (2) 「Yahoo! きっず」を使って、調べ学習を行う。 ①「やたい」と「やきそば」という単語を検索し、気に入った画像を保存する。 ・自分で検索を行うことができる児童は、キーワードを入力し、気に入った画像を教師と一緒にスクリーンショットで保存する。 ・自分で検索を行うことが難しい児童は、教師が平仮名で調べる言葉をホワイトボードに書いて提示する。 ②画像の気に入った所に「マークアップ機能」を使って印を付ける。 ・「やたい」と「やきそば」の具材などについて自分の写真のどこが気に入っているか発表する準備を行う。 ・印を付ける位置を教師と確認を行い、どうして気に入っているのかについても考える。 (3) 調べたことを発表する。 プロジェクターに自分の気に入った写真を映し、紹介する。 ・自分の席からミラーリングを行い、写真の気に入った箇所や、理由について紹介する。			
活用のポイント・改善策等			
【検索のポイント】 ・検索結果が表示される際に事前にフィルタリングが施されているため、検索を安全に行うことができる。 ・「ソフトキーボード」を活用することで、文字をマッチングすることができる児童であれば、自分で検索を行うことができる。 ・入力アシスト機能があり、検索の候補が出るため、関連するものについても検索を容易に行うことができる。 ・サイトの検索と画像の検索のみ行うため、関係のない情報をカットすることができる。 【発表のポイント】 ・写真の気に入った所を「マークアップ機能」を使って印を付けることで、自分の考えを言			



葉で伝えることが難しい児童が友達に伝える手段として活用できる。

- ・言葉での説明だけでは写真のどこに注目すればいいかの理解が難しい児童が、写真に印があることで注目をする場所が分かる。
- ・友達の前に立って発表することが苦手な児童が、席に着いたまま発表を行うことができる。

〈改善点〉

- ・検索をするためには、「Yahoo! きっず」のサイトに予めアクセスしておく必要があり、検索タブやお気に入りに入れておかないと普段から活用することは難しい。
→検索タブに「Yahoo! きっず」ができるようにし、普段から活用を促していく。
- ・検索した画像をスクリーンショットで撮影するのには教師の支援が必要。
→スクリーンショットをする練習を行うようにする。
- ・「マークアップ機能」を活用する時の操作が複雑。
→最初は手順書を確認しながら操作を行ったり、普段から教師と練習を行ったりする。